

第 1 回地域検討会の主な指摘事項

山形県	
1	<p>【指摘】漂着メカニズムの把握を目的にした「桙調査」では、海岸の奥行きに対しての分布を把握することが効率的な漂着ゴミの回収手法等の検討にどのようにつながるのか、が説明されていない。</p> <p>【対応】桙を置く意味として、どのような状況で漂着しているのかというのを確認、現状把握し、経時的な変化を見るというのが目的である。それを踏まえた上で回収方法を検討する材料になる。</p>
2	<p>【指摘】平成 20 年度の第 6 回クリーンアップ調査が 7 月に計画されているが、1 サイクルの経時変化データを採取するのであれば 9～10 月に行うことを提案する。</p> <p>【対応】調査を実施していく中で 9 月も必要であると考えられる場合は、今後の検討材料のひとつにしていく。</p>
3	<p>【指摘】流木の片付け方を考慮しないと回収作業がスムーズにいかない。流木の扱いをどうするのか。</p> <p>【対応】現段階では流木処理の方策を模索中である。県、市とも扱い方について検討させてもらう。</p>
石川県	
1	<p>【指摘】本調査の実施にあたり、近隣の町内会や漁協、サーファー、民宿などに連絡をして周知したほうがよいのではないかと。</p> <p>【対応】特に海水浴シーズンになると観光客が多くなる。調査を円滑に遂行するためにも近隣の宿泊施設、町内会、サーフショップ等に書面を配布して周知する。</p>
2	<p>【指摘】クリーンビーチ石川は 7/15 に清掃を予定している。独自調査だけでも一緒にできないかとの提案があった。</p> <p>【対応】来年度のことに 대해서는 今後調整をしていきたい。他の地域では協働しているところもある。</p>
3	<p>【指摘】4 番、5 番の地域は養浜作業を行っているので、ゴミと一緒に砂を大量に回収してもらっては困る。</p> <p>【対応】付着した砂はできるだけ落とすようにする。</p>
福井県	
1	<p>【指摘】各自治会では独自に浜の清掃活動を行っている。これから調査が実施されることを考えると、今後はどのようなタイミングで清掃活動を行えばいいか。</p> <p>【対応】各自治会の清掃活動の情報をいただきながら、こちらでも調査の日程を組んでいきたい。特に独自調査は清掃活動と同時に実施できるように調整したい。また、人員の募集についても是非、御協力いただきたい。</p>
2	<p>【指摘】解析方法として、ゴミの漂着状況を平均波高とか平均風速のデータと比較するという図があるが、ゴミが打ち上げられるという現象は平均的な値よりも、最大波高とか最大風速が関係していると考えられるので、そのような観点で解析を進めてはどうか。</p> <p>【対応】解析の参考にしたい。</p>

3	<p>【指摘】「その他の調査」で、「国内向け及び海外向け広報活動の検討」となっているが、特に今回の調査をやっているということを海外に広く広報すべきだと思う。そうすれば、ある程度、海外におけるゴミの削減に繋がるのではという気はする。</p> <p>【対応】日本・中国・韓国・ロシアを中心とした北西太平洋地域海行動計画（NOWPAP）において、漂流・漂着ゴミに関するプロジェクトが昨年からはスタートしている。それに関連するワークショップ等で、今回の調査の成果を公表していきたい。</p>
三重県	
1	<p>【指摘】漂着ゴミ分類リストに、カキの養殖の際に使用する1センチぐらいの丸いプラスチック製のゴミを追加していただきたい。</p> <p>【対応】三重では、区別して計測したい。</p>
2	<p>【指摘】セントレアができる以前と以後では、神島に漂着するゴミの量が違っている。今回の調査では、海流の流れに加えて風の向きも大きな意味を持っていると思われるので、このあたりも検討いただきたい。</p> <p>【対応】「その他の調査」の「漂着ゴミの発生源及び漂流経路に関わる調査」で、漂流経路の調査を実施し、検討する予定。</p>
3	<p>【指摘】三重県としては、本調査が発生源を探る単なる犯人探しではなく、海ゴミ問題そのものが伊勢湾流域全体の問題であると認識している。このような認識を三重県だけではなく、愛知県、岐阜県も共有いただき伊勢湾流域で何らかの対策をとれるようにしていきたい。現状では具体的な方策がない中、このような調査をきっかけに、流域全体で考えることができるきっかけとなることを願っている。桃取地域の方々は、長い間ゴミ問題に直面している。その地元の方々の経験をしっかりと調査の中で捉えていただきたい。</p> <p>【対応】地元で所有する過去の資料については、調査結果の充実を図って参りたいと考えているので、是非ご提供いただきたい。</p>
長崎県	
1	<p>【指摘】作業員の確保は地元で行なうということであるが、事業終了後も継続的に漂着ゴミに対応するため、作業員の確保という点に関しどのように考えているか。</p> <p>【対応】今後調整し、事業を通じて継続的な清掃活動の実施体制を検討したい。</p>
2	<p>【指摘】漂着ゴミ問題は対馬にとって非常に深刻な問題であるので、市民に理解してもらうためにもマスコミ等を通じて発表してほしい。</p> <p>【対応】取材については7地域全てを含め今後検討していく。</p>
3	<p>【指摘】対馬における過去の活動は海岸がきれいになることに重点を置いていた。本検討会ではどのような方向で進めていくのか。</p> <p>【対応】漂着ゴミ問題について現状を理解し、何が課題なのかを共通の認識とする。その課題について優先順位をつけ目的を共有すること。様々な課題を解決するために議論を進めていくことを本検討会の方向性と位置づけたい。</p>
熊本県	
1	<p>【指摘】樋島海岸が指定されたことにより、漁民に何らかの規制がかかるのではないかと。</p> <p>【対応】規制のかかる事業ではない。</p>

2	<p>【指摘】当該地域の一般廃棄物の処理は、2市1町が負担金を出して運営する天草広域連合が行っている。この事業で回収した海ゴミを町の一般廃棄物として処理した場合、ゴミの搬入量に応じて2年後に負担金が増えることになる。このような地域事情から国の事業により町の負担が増えるのは困るので、産業廃棄物として処分してほしい。また、この事業で扱う一般廃棄物について地元自治体の負担が発生しない運用方法はないのか。</p> <p>【対応】調査後の作業継続性を考え、可能な限り産業廃棄物ではなく、一般廃棄物としての扱いとする。継続的な海ゴミ処理方策を考えるにあたり、熊本県、上天草市、苓北町に協力いただきたい。</p>
3	<p>【指摘】この事業は2年間で終了とのことであるが、その後も同様の事業を継続するつもりはあるか。</p> <p>【対応】2年間の調査において、地元の活動に役立つような情報提供をできるようにしていく。</p>
沖縄県	
1	<p>【指摘】モデル調査の2つの海岸だけでなく、この調査結果を八重山諸島の漂着ゴミ防止、処理、清掃に生かしていくことが必要である。他の島々に対しても、この調査で得られた結果、方針を活かしていく事で漂着ゴミ対策について大きな流れが作られていくことを期待する。</p>
2	<p>【指摘】西表島は国有林が多く、またマングローブ林の中は、貴重な生態系が存在することから安易に調査に入ることは難しいので林野庁が検討メンバーに入るべきと考える。</p> <p>【対応】林野庁とは調整する。今回は海岸の調査なので、マングローブ林の中は調査対象ではないが、その他の調査で取り扱える可能性がある。来年度のその他の調査で取扱いを検討する。</p>
3	<p>【指摘】沖縄はサンゴ礁の海なので、砂浜では礫と砂が結構混ざっている。ビーチクリーナーが礫と砂を完全に分離するようなものであれば、逆に物理的性状が破壊されて砂が流出しかねない。礫を取らずにゴミだけをとる方法を検討してほしい。ビーチクリーナーの利用は生態系への問題もあるので、地元の自治体と調整して検討してほしい。</p> <p>【対応】了解。(会議後、事務局と自治体で調整した結果、ビーチクリーナーは使用しないことにした。)</p>
4	<p>【指摘】(その他調査「観光価値資源の価値向上」について)価値観としての価値を知りたいのか、観光資源として利用された場合の経済的なものの価値を知りたいのか。目的を明確にしてほしい。この調査は「観光資源価値」とあるので、観光資源として利用される場合、どのような価値になるのかということを考えている。</p> <p>【対応】自治体からはゴミの回収費用に見合うだけの観光資源価値の向上があるかどうかの評価を求められていると理解している。しかしながら、漂着ゴミの問題は、生態系としての価値など、様々な価値の要素と関係しているのでこの点から整理を始めなければならないと考えている。</p>